

科目名	経済システム理論	科目コード	1156	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

経済システム理論 では、ミクロ経済学の基礎的な理論を学ぶ。個々の経済主体（家計、企業）の合理的な行動に共通する基本的なルールを理解すること、また、ビジネスに必要な市場に関する基本的な諸問題を理解することが、この授業のねらいである。

● 到達目標

- ・「限界」や「最適」という概念が理解できる。
- ・完全競争市場での消費者の最適消費行動、企業の最適生産行動の意味を理解し説明できる。
- ・市場の機能と分類、それらの限界を理解し説明できる。
- ・パレート最適性の概念や余剰分析を用いて市場の効率性を議論できる。
- ・外部性の概念を理解し、余剰分析を適用して市場の失敗の評価を行うことができる。

● 授業内容

- 1週目 経済学とは？、市場経済とは？、ミクロとマクロ、ミクロ経済学の全体像
- 2週目 消費の理論（1）限界効用理論
- 3週目 消費の理論（2）無差別曲線（定義と仮定）、予算線・最適消費点
- 4週目 消費の理論（3）上級財・中級財・下級財、所得-消費曲線、価格-消費曲線、所得効果と代替効果、需要曲線
- 5週目 消費の理論（4）需要の所得・価格弾力性、労働供給量の決定
- 6週目 生産の理論（1）利潤と収入、費用、供給曲線
- 7週目 生産の理論（2）完全競争企業の最適生産量
- 8週目 生産の理論（3）完全競争市場の長期均衡、生産要素の需要
- 9週目 市場の理論（1）供給独占、需要独占、双方独占
- 10週目 市場の理論（2）独占的競争、寡占市場、屈折需要曲線、ゲームの理論、フルコスト原則、売上最大化仮説
- 11週目 市場の理論（3）余剰分析
- 12週目 市場の理論（4）市場均衡と均衡の安定性（ワルラス調整、マーシャル調整、蜘蛛の巣原理）
- 13週目 効率性と公平性、パレート最適
- 14週目 費用逓減産業、自然独占、価格規制
- 15週目 外部効果、公共財
- 16週目 中間・期末テストの講評、再試験等の実施。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習と復習は基本的にテキストを熟読し、併せてCoursePowerで配信するオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
- ・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、CoursePowerで配信するオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
- ・復習：CoursePowerで配信するオンデマンド動画教材を再度視聴し、課された提出課題をCoursePowerから提出し、授業で指示されたテキストの練習問題を解くこと。(90分程度)

● 成績評価の方法・基準

- ・成績評価は、複数回実施するテストの平均点を基本として行いますが、オンデマンド動画教材の視聴状況、課題の提出状況等も加味します。

● 履修上の留意点

- ・講義は原則として対面で実施し、CoursePowerでオンデマンド動画教材も同時に配信します。
- ・成績評価は原則として、全16週のうち11週以上授業に出席した学生を対象に行います。
- ・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・テストの返却と講評は原則としてテスト実施の翌週の授業の中で行い、提出した課題の解答は、提出した翌週にCoursePower上で公開します。

● テキスト

石川秀樹『速習！ミクロ経済学 2nd』(中央経済社) 2,600円。

● 参考書

塩澤修平・北條陽子『基礎から学ぶミクロ経済学』(新世社) 2,300円。

● 更新日付

2022/02/03 04:14